

総合的な学習の時間の第 1 の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。
(2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
(3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

学校の教育目標

豊かな心（寛容の精神、謙虚さ、思いやり）と確かな学力を兼ね備えた次代のリーダーの育成
(1) 6年間の継続的・計画的な教育活動を通じて、一人一人が高い志をもち、その実現に向けて知性と人間性を育む。
(2) 科学教育や国際交流、医学分野等の教育活動を通じて、体験的・探究的な学習活動の展開により、国内外で活躍するための科学的思考力や表現力を培う。
(3) 異年齢交流を重視した学校行事や部活動、トップリーダーとの交流、ボランティア活動などを通じて、社会に貢献するリーダーとしての資質を磨く。

各学校で定める目標と育成する資質・能力

- (1) 弛まぬ学ぶ力
主体的態度、協働的態度、より深く学ぶ態度の育成
(2) 発信力、論理力
思考力、判断力、表現力の育成
(3) 科学的考察力
科学的な見方・考え方の育成
(4) 創造力、探究力
言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力の育成

総合的な学習の時間の学習評価

- (1) 学び合いに積極的に参加し主体的に活動している。
(2) 論理的で筋道立ったレポートや発表ができる。
(3) 科学的プログラムの体験や作品作成に積極的に臨んでいる。
(4) 生徒自身で課題を設定し解決している。

生徒の実態

- 素直な性格で、的確に物事を捉える力があり、受容性に富む生徒が多い。
○明確な自己目標をもち、向学心や向上心の高い生徒が多い。
○広範囲から通学しており、様々な地域性を有している。
○部活動の加入率が高く、文武両道の確立に努力する生徒が多い。

生徒の発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする生徒への指導

- ・学習上又は生活上の困難を改善・克服するための配慮（個への支援と教育的ニーズへの対応）。
・生徒の発達の段階に応じた柔軟で、臨機応変な対応。
・面談やアンケートにより生徒理解に努め、子供たちの実態に即した指導。
・関係機関や外部専門家等との連携、また緊急時の支援体制の整備。

目指す生徒の姿

- 広い視野と柔軟な思考力、豊かな感性を備え、新たなものを創造(Create)できる生徒
○さまざまな分野への好奇心や探究心にあふれ、自ら進んで真理の追究や課題の解決に挑戦(Challenge)できる生徒
○高い目標と強い意志をもち、地域や日本、国際社会の発展に貢献(Contribute)できる生徒

各学校が定める内容（目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題を通して育成を目指す具体的な資質・能力

【1年次】

探究活動：身の回りの事柄に興味・関心をもち、問題・疑問点を発見し、調査・研究を重ねて最良の解決方法を見いだす。

- ・探究課題1：「身近な疑問の解決」
・探究課題2：「博物館・科学館訪問まとめ」
個人及び協働で活動し、情報や資料の整理・分析やレポート作成方法を学ぶ。
資質・能力：(1)情報収集、活用能力 (2)まとめ、発表能力 (3)課題共有、協働、解決能力

【2年次】

探究活動：世の中の事柄に興味・関心をもち、問題・疑問点を発見し、調査・研究を重ねて最良の解決方法を見いだす。

- ・探究課題3：「科学研究・研究所訪問まとめ」
・探究課題4：「環境問題とSDGsについて考える」
個人及び協働でレポートを作成し、多様な発表方法を学ぶ。
資質・能力：(1)情報収集、活用能力 (2)表現力と発信力 (3)科学的見方・考え方

【3年次】

探究活動：プロジェクトを具体化し、実践、発表後の振り返りを通して社会への貢献と自己の変容を確認する。

- ・探究課題5：「インタビューによる地域ニーズの抽出」
・探究課題6：「SDGsを軸とした課題の自分事化」
インタビュー術やアイデア発想法を習得し、得られた情報を分類・整理することで、社会の課題と自身の関心を結びつけた独自の探究テーマを設定する方法を学ぶ。
資質・能力：(1)論理的思考力 (2)語学力と表現力 (3)科学的探究心・好奇心

学習活動、指導方法等

【1年次】

- ・身の回りの疑問から課題を見つけ、グループ活動においてブレインストーミングの手法などを学びながら、課題の解決を試みる。
・施設見学(東京国立博物館・国立科学博物館)に関する分野における課題を見つけ、事前学習を行う。見学後に新たな課題について解決に向けて活動するとともに、レポートの作成方法を学んで発表を行う。
・計画の立案や情報収集などをグループで協力、分担し、課題解決に向けて協働して行う。

【2年次】

- ・グループ活動において環境問題とSDGsについて話し合い、課題を決定する。グループ内で話し合ったり、他のグループの意見を聞いたりして、自分の考えをまとめる。プレゼンテーションソフトを使ってレポートを作成し、発表を行う。
・訪問する研究所について情報を収集し、疑問点や興味をもった事柄についてグループで話し合い、テーマを設定する。研究所の見学や講話を通して、課題解決を試みる。まとめや発表を通して活動を振り返り、新たな課題の発見へとつなげる。

【3年次】

- ・地域の人々へのインタビューや施設訪問を通して、対象者の困りごとや課題を調査し、自分の興味・関心とSDGsを結びつけながら解決すべき「問い」を設定する。
・インタビュー術や話し方、アイデア発想法などのスキルを習得し、演劇を活用したプログラムでチームに必要なコミュニケーション力を養う。
・企画コンペで各自の案を評価し合い、チームでプロジェクトを具体化して実践する。中間発表でのフィードバックを反映させながら成果をまとめ、地域の方々に招いて発表を行い、活動を通じた自己の変容を振り返る。

指導体制（環境整備、家庭・地域との連携）

- Σ ソフィア・プロジェクト推進委員会(Σ アカデミア、Σ コミュニケーション、Σ サイエンス、課題研究委員会)による企画立案、運営
○ Σ ソフィア・プロジェクトと企画委員会(管理職、校務部長、年次主任)及び各教科主任との連携、調整、情報交換
○ 少人数指導やティームティーチング等による個々に応じたきめ細やかな指導の実践、及びグループ活動や異年齢交流活動等による協働的な学びの実践
○ 企業、研究機関、大学等との連携、協働による先進的な教育活動の展開
○ PTA や地域社会との連携、協働による開かれた学校づくりの推進